

「神川地区市民文化祭」を開催しました 11/10

神川小学校クラブのステージ発表や神川・国分保育園の絵画展示、公民館利用者団体や地域の皆様による発表などが行われ、多くの方にお越しいただき大変賑わいました。神川地区13分館の役員の皆様や利用者団体の皆様には、事前の会議から準備、当日の運営までご協力いただき無事に開催することができました。ご参加・ご協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。



神川保育園



国分保育園



神川小マンガイラストクラブ



分館作品



分館作品



分館作品



利用者団体作品



利用者団体作品



利用者団体作品



プリバントロコモフラ



なないろ



上田アコーディオン愛好会



金井さん



空飛ぶじゅうたん



パレエ・サークル シュシュ



ZUMBAサークル

～地域の小・中学校の活動を中央公民館から地域の方に伝えます～

地域の人に知ってほしい、小学校のこと!

2024.11月：神川小学校

6年3組の子どもたちが、自分たちが暮らす地域の写真を総合的な学習の時間で撮っています。(1人1台貸与されているタブレット端末を使用して撮っています)

先日神川地区公民館で行われた文化祭で、その写真を展示してくれました。会場の都合で写真を展示できるスペースは模造紙4枚分だけ。その限られたスペースに子どもが自分たちで写真を選び、タイトル・配置を考え、工夫して素晴らしい作品を飾ってくれました。文化祭に来場した方は子どもたちの感性で切り取られた地域の写真の数々に足を留め、すっかり見入っていました。この写真展は来年2月にイオンスタイル上田でも開催される予定です。地域の皆さんにぜひご覧いただきたいです。㊦



中央公民館地区の小
学校の活動をもっと
知りたい方は右のQ
Rコードから、ぜひ。



神川小



清明小



東小



北小

編集・発行 上田市中央公民館

TEL 0268-22-0760 FAX 0268-22-1633
有線 2-0891

〒386-0014 上田市材木町1-2-3
E-mail chuok@city.ueda.nagano.jp

上田市中央公民館 印刷 一喜堂印刷機 35-2624



市
ホームページ



中央公民館
フェイスブック

四季折々

今年も残すところわずかとなりました。年齢を重ねるにつれ、時間の経過が早く感じるとは言われますが、本当にその通りで、1年があっという間に過ぎて来ます。時間の経過の早さを嘆いても仕方がないので、来年はそれに負けない速さで活動し、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。利用者の皆様、地域の皆様には一年間大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。(次長 内藤)

中央公民館だより

かいらん

令和6年12月16日号

2025年のレコード初めに! レコード鑑賞会

レコードの魅力に触れて、心も身体もリフレッシュ! 1月19日(日) 14:00～16:00
やわらかな音色を皆で楽しみましょう。ご自宅に聴きたいレコードがある方は、当日お持ちください。◆日時 1月19日(日) 14:00～16:00
◆場所 中央公民館3階 大会議室 ◆対象 どなたでも
◆申し込み 不要 ◆問合せ先 中央公民館



コーヒーについてより深く知ろう!

おとなの珈琲講座

受講者募集



多くの方に親しまれている珈琲には、豆や産地等により様々な種類があります。昨年度も開催し好評いただきました珈琲講座ですが、今回も基本編としまして、講師から珈琲に関する豆知識や美味しく淹れるコツをご紹介いただくとともに、試飲をして豆や淹れ方による味の違いを体験していただきます。

◆日時 2月7日(金) 14:00～16:30 ◆持ち物 なし
◆場所 中央公民館2階 料理実習室 ◆受講料 100円(別途材料費:500円)
◆講師 亀山陽介さん(亀山珈琲焙煎所店主) ◆申し込み 12月24日(火) 10:00～令和7年2月
◆対象 どなたでも 4日(火)の間に、市ホームページの申込
◆定員 先着16名 フォーム、または、中央公民館へお電話(22-0760)にて。

お申し込み
はコチラ!



初めての方でもご安心ください! 入園グッズ作成講座(3回連続講座) 受講者募集 託児付

裁縫に不慣れなお母さん・お父さんでも大丈夫! お子さんが登園に使う絵本袋などの入園グッズを作りましょう。絵本袋を仕上げた後に、コップ入れや布団カバーなど必要なものを作成できます。
※絵本袋の作成は必須ではありませんので、作成したいグッズがある場合は事前にご相談ください。

◆日時 【1月開始コース】: 1月20日(月)・27日(月)、2月3日(月)
【2月開始コース】: 2月25日(火)、3月3日(月)・10日(月)
各回9:30～12:00 ※両コースとも内容は同じです。
どちらかにお申し込みください。

◆場所 中央公民館2階 第1会議室
◆講師 宮島真由美さん(子育て応援団オハナプロジェクト)
◆対象 来春入園されるお子さんの保護者
◆定員 各コース先着5名
◆受講料 300円(3回分)
◆申し込み 12月23日(月) 10:00以降、市ホームページの申込フォーム、または、中央公民館へお電話(22-0760)にて。

お申し込み
はコチラ!



持ち物

(絵本袋の作成のためにご用意いただく物)

- キルティングの布(1m)
- カラーテープ(2m)⇒2.5cmか3cm幅の物
- マジックテープ(1つ)
- 裁縫道具(布切バサミ、糸切バサミ、待ち針、チャコペン)
- 絵本袋の蓋裏に使うキルティングではない布(1m)⇒オックス、シーチングなどコットンプリント生地の物
- ひもを調整する金具(コキカン:2個)
- ミシン(お持ちの方)
- 託児をご希望の方は、お子さんの着替え、オムツ、おやつ、ゴミを入れるビニール袋など

令和6年度 第24回「ことぶき大学」クラブ発表会を開催します

入場無料

上田市では、生涯を通じた学び合いの場として、シニア世代を対象とした「ことぶき大学(中央公民館校、城南公民館校)」を開講しています。ことぶき大学のクラブ活動として、ダンス・民謡・書道・俳画・カラオケ・ニュースポーツ・うたごえ・手芸の8クラブが、月1回活動しています。

このたび、クラブ活動の成果を発表する場として、ことぶき大学の学生によるクラブ発表会および展示会を開催します。

◆日時 令和7年1月31日(金) 12:00～15:00
◆会場 クラブ発表会…上田文化会館ホール
展示会……………中央公民館 1F 展示室

◆クラブ発表会・展示会の内容
ダンス・民謡・カラオケ・ニュースポーツ
うたごえクラブによるステージ発表
書道・俳画・手芸クラブによる作品展示





第64回 上田市短詩型文学祭 入賞作品



今年の夏に作品を募集したところ、短歌、俳句、川柳、詩（ポエム）の4部門合わせて、1,380作品の応募をいただきました。
ご応募くださいました皆様、そして選者の先生方、ありがとうございました。

12月8日（日）には、各賞の入選者を迎え、上田文化会館ホールで表彰式を開催しました。入選された皆様、本当におめでとう
ございます。応募いただいた全作品を掲載した作品集を作成し、中央公民館ロビーに設置しております。ぜひご覧ください。

上田市長賞

短歌の部

歌詠めば下手とは言はずわが妻は「心が詠めていますよ」と言ふ

古安曾 甲田 隆登

〔評〕夫婦の温かい交流が感じられる。「心が詠めていますよ」の一言が嬉しい。

俳句の部

夫の霊好きな花火で迎えおり

中央西 安藤 洋子

〔評〕お盆の迎え火のことでしょう。単純明快な表現の中に、長い間共に過ごしたご主人への思いが伝わってきます。手花火のぱちぱち爆ぜる音も聞こえ、迎える喜びも感じられます。

川柳の部

牛歩でも握り締めてる老の夢

上丸子 尾上千鶴子

〔評〕物流、情報の高速化により変化の激しい時代にあつて、自らを見つめ足を地に着け着実に歩み、そして抱いた夢へ向かう力強い姿が浮かぶ、素晴らしい句です。

上田市教育委員会賞

短歌の部

木漏れ陽よ亡妻のこころが知りたくて温もり残る墓石に手を添う

築地 勝見 稔

〔評〕在りし日の妻の心に思いを馳せる。結句は「墓石に触る」とすると納まりが良いでしょう。

俳句の部

帰省子や指先おどる駅ピアノ

大屋 竹内 啓子

〔評〕帰省した学生が故郷の駅の構内に見つけたピアノを演奏している。自分が育った故郷へのなつかしさと嬉しさでその指先は踊るように弾んでいる。だれも共感できる景である。

川柳の部

人生の余白を埋める趣味一途

岩下 岩崎 キク

〔評〕人生百年時代を迎え、有意義に生き抜くために必要不可欠な力は、心身が健康で、常に何かを学び続ける姿勢を持ち、趣味や人的繋がりなどの個人が持つ無形資産を磨くことだという。それを趣味一筋に実践し、経験を積み、人生の余白をバラ色に染めるように励んでいる、作者の姿や想いが窺い知れることができる秀句です。

詩（ポエム）の部

夏の朝

浦野 大井 篤

広大な宇宙の片隅にある小さな美しい
青い星に届いている

世界が平和で人々が安心して生活できる
世の中になる事を切に願っている

毎日猛暑が続いている
昨夜は熱帯夜だった
四時過ぎに目が覚めた
パジャマが汗でぐっしりぬれている

宇宙の神秘さ 不思議さに心が震える
庭の緑木に朝露が光っている

茶を飲み 梅漬けを食べ
サア元氣を出して散歩に行こう

窓を開けて東の空を見ると
オリオン座が輝いている
その隣りにはシリユウスが青白く光っている
星の光は何百億年にも出て

ヒトはどこから来てどこへ行くのだろう
今地上では心無き専制者による
不条理で独善的な争いが続き
かけがえの無い多くの尊い命が失われている

〔評〕日々の猛暑の中で、作者が感じたものは宇宙のひかり。その不思議さ。神秘さ。美しさゆえに、平和を意識せずにいられないーそんな心のゆらぎが、表現されていて作品に、重厚さに、軽さが加わって読ませる詩となりました。後の二行が、現実に戻された朝のすがしさとして、伝わってきました。効果的でした。これからも詩を書いて下さいね。

上田市中央公民館長賞

短歌の部

独り身は寂しきよりもつまらぬと細く呟く友に寄り添ふ

諏訪形 有賀利枝子

〔評〕独り暮らしの友の気持ちを察しながら、寄り添う作者の姿勢が見える。「細く呟く」の言葉が適格。

俳句の部

甲子園砂つめる手に涙落ち

緑が丘 青木しずか

〔評〕連戦の末、試合に敗れ、甲子園の砂かき集めて袋につめる。その手に悔し涙を落とす姿は、正に青春の何にも替えがたい貴重な宝ものです。この句に季語はありませんが、内容から季節は十分伝わりますので、これでいいでしょう。

川柳の部

今日は二歩明日は三步を目指す杖

築地 勝見 稔

〔評〕体に不調があると、心が後ろ向きになりがちです。でも昨日より今日、今日より明日へと前向きな作者に共感を覚えます。二歩三步の具体性が良く効いています。

詩（ポエム）の部

子供の頃の思い出

中之条 石井紀代子

子供の頃、おやつ変りに
学校から帰ると
みそを空カンに入れ
畑へと忙ぐ
目的は
丸い丸いナスを食べることだ
そのナスをひぎ小僧で
トントんと、たたき
やわらかくする

ヘタを取り指で穴をあける
その中にみそをつっこむ
軽くやさしくもみほぐす
みそがナスの中身と交じり合っ
ておいしくなる
そのナスにかぶりつく
中から汁がチュート顔にかかる
丸かじり、ほどよい味だった
お腹をすいた我々には

〔評〕なかなか興味深い丸ナスの調理法ですね。おいしそう。私も作ってみたくなりました。信州ならではの材料で、おいしいひとときを、楽しんだ様子がほほえましかったです。後から六行目の前は一行アケルとよいかと思います。別の内容になるかと思いますが、そうしたテクニクで詩はよくありますので今後の参考にして下さい。



応募結果

一般	72人	138作品
小学生	691人	691作品
中学生	551人	551作品
合計	1,314人	1,380作品